

SendPro®C 220 シリーズ SendPro®C 320 シリーズ



オペレーター向け 簡易ガイド

本ガイドは、SendPro C220/C320 シリーズのオペレーター向け基本操作について説明しています。

本ガイドに記載されていない項目や、より詳細な手順については、ピツニーボウズジャパンの Web サイトからダウンロード可能なユーザーガイド、または機種専用サポート Web サイトをご参照ください。

ユーザガイド掲載 URL



https://www.pitneybowes.com/content/dam/pitneybowes/Japan/jp/Support/Hardware/User_manuals/sendproc-7hb0c-user-guide-japan.pdf

機種専用サポート URL



<https://www.pitneybowes.com/jp/support/products/sendproc-sendprocplus-7hb0c.html>

サポートサイトのご利用方法

機種専用サポートサイトでは、オンラインチャットでのサポート、各種サポート文書の検索、サポートセンターの電話番号検索がご利用いただけます。お問い合わせの際は、必ずモデル番号とシリアル番号をご用意ください。

これらの番号はデバイスの左側面、または背面に記載されています。

カスタマーサービス対応時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（土日祝休）

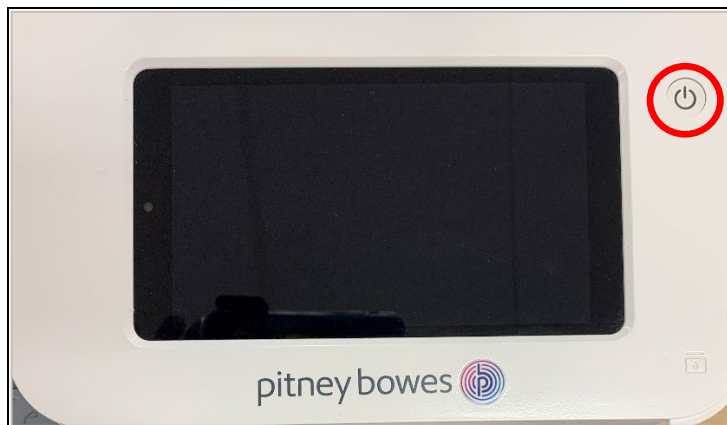
目次

1.電源のオン・オフ	4
1.1 電源のオン手順.....	4
1.2 電源のオフ手順.....	5
2.郵便処理について	6
2.1 内蔵スケールを使用して料金印字.....	6
2.2 金額を手入力して料金印字	8
2.3 ディファレンシャルウェィングを使用して料金印字	10
2.4 グラフィック広告を付けて料金印字	13
3.スケールゼロ設定	14
4.プリンターのメンテナンス	15
4.1 インク残量について.....	15
4.2 インクカートリッジの交換・取付手順.....	16
4.3 テストパターンの印字	19
4.4 プリントノズルのクリーニング	20
5.FAQ &トラブルシューティング	21
5.1 「書留」オプションサービスを利用する際の注意点	21
5.2 「速達」オプションサービスを利用する際の注意点	21
5.3 スケールに何も載せていないのに 1g と表示される	22
5.4 問題が発生しました BA00 エラーが表示される.....	22
5.5 厚い封筒を印字する場合.....	23
5.6 封筒が斜めに搬送された場合.....	23
5.7 封筒が詰まった場合.....	23

1. 電源のオン・オフ

1.1 電源のオン手順

1. 電源ボタンはディスプレイの右上にあります。電源を入れる際は、このボタンを押してすぐに離してください。**長押しはしない**ようご注意ください。



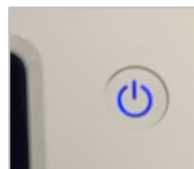
2. 正常に起動完了すると、電源ボタンの LED ランプが白く点灯し、1 分程で以下のホーム画面が表示されます。電源ランプが**白く点灯**していれば正常に起動しています。



※上記画面が表示されない場合や、電源ボタンが**青点滅または赤点灯**している場合は、正常に起動していません。電源を入れるときは、**電源ボタンを 1 秒以上押さない**でください。電源ボタンの長押しによりメンテナンス用モードで起動しています。

その場合は、以下の手順で再起動してください。

1. 電源コードをコンセントから抜きます。
2. 電源がオフになってから 1 分間待ちます。
3. 電源コードを再度コンセントに差し込みます。
4. 電源ボタンを押してすぐ離し、電源をオンにします。



1.2 電源のオフ手順

電源を切る前に、必ず処理データを同期し、データをアップロードしてください。

※処理データを保護し、紛失や破損を防ぐために重要です。

処理データの同期画面の表示

画面右上の「**アイコン**」をタップします。

メニュー画面内の「**処理データの同期**」をタップします。



データのアップロード

処理データのアップロードが実行されます。

アップロード完了後、「**処理データ送信完了**」と表示され、ホーム画面に戻ります。



同期不要の場合

すでに処理データの同期が完了している場合は、「**同期は不要です**」と表示されます。この場合は「**OK**」をタップしてホーム画面に戻ります。



電源の切断

同期が完了したら、電源を切ります。

電源ボタンを約 5 秒間長押ししてください。

画面に「**シャットダウン中...**」と表示されたらボタンから手を放します。数秒後に電源が切れ、画面および電源ボタンが消灯します。



2. 郵便処理について

2.1 内蔵スケールを使用して料金印字

内蔵スケールを使用して郵便物の重量を計測し、郵便料金を印字する手順を以下に説明します。

郵便物処理画面の表示

ホーム画面で「郵便物の処理」をタップします。右側の画面が表示されます。

- デフォルトプリセットを編集している場合は、表示が異なることがあります。

部門の選択

「部門」をタップし、表示されたリストから該当の部門を選択します。

種別とオプションの選択

「種別」をタップし、郵便物の種別及びオプションサービスを選択します。

- 初期設定では「国内定形郵便」が選択されています。「種別」欄をタップすると、国内定形郵便に付加できる速達や書留などのオプションが表示されるので、必要に応じて選択してください。

その他の郵便種別の選択

- 国際郵便を選ぶ場合は、「国内郵便」をタップすると、国内郵便と国際郵便の選択画面が表示されます。
- 国内郵便のその他の種別（ゆうパック・はがきなど）を選ぶ場合は、「書状」をタップします。
- 定形外郵便や定形外規格外を選ぶ場合は、「定形」をタップします。

郵便物の重量計測

郵便物をスケールに載せると、自動で重量を計測し、画面に重量とそれに応じた郵便料金が表示されます。

印字日付の設定（必要な場合）

当日以外の日付で印字する場合は、「日付表示部」をタップして日付を選択します。



郵便料金の印字

「印字可能」と表示されたら、封筒をフィーダーに差し込みます

- 封筒の上端をマシンの背もたれガイドに合わせ、そのまま右にスライドさせます。センサー部分まで届くと自動で引き込まれ、印字された郵便物が右側に排出されます。



印字中の画面と連続印字

印字中は右側の画面が表示されます。

- 封筒排出後、フィーダーは約 10 秒間動作を継続して次の封筒を待機し、同一料金で連続印字が可能です。すぐに停止したい場合は「ストップ」アイコンをタップします。



2.2 金額を手入力して料金印字

任意の金額を印字するために郵便料金を手入力する場合の手順を、以下に説明します。

郵便物処理画面の表示

ホーム画面で「郵便物の処理」をタップします。右側の画面が表示されます。

- デフォルトプリセットを編集している場合は、表示が異なることがあります。

部門の選択

「部門」をタップし、表示されたリストから該当の部門を選択します。

プリントモードの選択

画面左下の「プリントモード」をタップします。

- プリントモードが表示されていない場合は、画面左下側から上にスワイプすると表示されます。

郵便料金手入力の選択

右側の画面が表示されます。「郵便料金手入力」を選択し、「適用」をタップします。

郵便料金入力テンキーの表示

金額表示部「¥0」をタップします。



郵便料金額の入力

テンキーが表示されるので、任意の金額を入力し、✓ボタンをタップします。



印字の準備

入力した金額が正しく表示されていることを確認します。

郵便料金の印字

「印字可能」と表示されたら、封筒をフィーダーに差し込みます

封筒の上端をマシンの背もたれガイドに合わせ、そのまま右にスライドさせます。センサー部分まで届くと自動で引き込まれ、印字された郵便物が右側に排出されます。



印字中の画面と連続印字

印字中は右側の画面が表示されます。

- 封筒排出後、フィーダーは約 10 秒間動作を継続して次の封筒を待機し、同一料金で連続印字が可能です。すぐに停止したい場合は「ストップ」アイコンをタップします。



2.3 ディファレンシャルウェイングを使用して料金印字

ディファレンシャルウェイングモードを使用して、郵便物がスケールから取り除いた際の差分重量を計測し、郵便料金を印字する手順について以下に説明します。

※一部のモデルはディファレンシャルウェイングに対応していないため、本機能は使用できません。

郵便物処理画面の表示

ホーム画面で「郵便物の処理」をタップします。
右側の画面が表示されます。

- デフォルトプリセットを編集している場合は、表示が異なることがあります。

部門の選択

「部門」をタップし、表示されたリストから該当の部門を選択します。

種別とオプションの選択

「種別」をタップし、郵便物の種別及びオプションサービスを選択します。

- 初期設定では「国内定形郵便」が選択されています。「種別」欄をタップすると、国内定形郵便に付加できる速達や書留などのオプションが表示されるので、必要に応じて選択してください。

その他の郵便種別の選択

- 国際郵便を選ぶ場合は、「国内郵便」をタップすると、国内郵便と国際郵便の選択画面が表示されます。
- 国内郵便のその他の種別（ゆうパック・はがきなど）を選ぶ場合は、「書状」をタップします。
- 定形外郵便や定形外規格外を選ぶ場合は、「定形」をタップします。

計量方法画面の表示

「重量表示部」をタップし、計量方法画面を表示します。



ディファレンシャルウェイングモードの選択

「ディファレンシャルウェイングモード」を選択し、「適用」をタップします。



郵便物の計量準備

「郵便物をスケールに載せてください」と表示されたら、郵便物をすべてスケールに載せます。重量表示部には全郵便物の総重量が表示され、「郵便物を一通取るとその重量に応じて郵便料金を算出します。」と表示されます。



郵便物の取り上げと料金算出

スケールから郵便物を 1 通取り上げると、その郵便物の重量と料金が表示され、「印字不可」だった表示が「印字可能」に変わります。

- このタイミングで種別や部門の変更も可能です。

郵便料金の印字

取り上げた郵便物に料金を印字します。「印字可能」と表示されたら、封筒をフィーダーに差し込みます。

The screenshot shows the postage calculation interface. At the top, it displays '残額 ¥35,126' and '使用累計金額 ¥124,874'. The left sidebar shows 'プリセット デフォルト' and '部門 001 総務部'. The main area shows a weight of '0 kg 188 g' and a date of '12月1日'. A red banner at the bottom indicates '印字不可' (Cannot print).

The screenshot shows the postage calculation interface after a weight change. The weight is now '0 kg 17 g'. A green banner at the bottom indicates '印字可能' (Can print).

印字後の処理

印字が終了すると、先ほど取り上げた分の重量が差し引かれ、残りの総重量が表示されます。引き続きスケール上の郵便物について順次印字を行います。

The screenshot shows the postage calculation interface after printing. The weight is now '0 kg 171 g'. A red banner at the bottom indicates '印字不可' (Cannot print).

最後の郵便物の処理

最後の郵便物をスケールから取り上げると、「最後のアイテム」と表示されます。

取り上げたものが郵便物であれば「はい」をタップして印字します。

郵便物を載せる際に使用したカゴなどを取り上げた場合は、「いいえ、郵便物ではありません」をタップして処理を終了します。

The screenshot shows a dialog box titled '最後のアイテム' (Last Item) with the question 'スケールから最後に取り除いたアイテムに郵便料金を印字しますか?' (Do you want to print postage for the last item removed from the scale?). There are two buttons: 'いいえ、郵便物ではありません' (No, it is not a mail item) and 'はい' (Yes). Arrows point from these buttons to labels below: 'いいえ、郵便物ではありません' points to '印字せずに終了' (End without printing), and 'はい' points to '印字して終了' (End with printing).

2.4 グラフィック広告を付けて料金印字

郵便料金の横には、6種類のデフォルト広告に加えて、「My Graphics Designer」でお客自身が作成した企業ロゴなどのオリジナル広告を印字できます。オリジナル広告の作成方法は管理者向け簡易ガイドを参照ください。以下に、グラフィック広告を設定して料金を印字する手順を説明します。

郵便物処理画面の表示

ホーム画面で「郵便物の処理」をタップします。右側の画面が表示されます。

- デフォルトプリセットを編集している場合は、表示が異なることがあります。

広告の選択

「**⊕ 広告**」をタップし、広告の変更画面を表示します。



広告の適用

インストールされている広告画像が表示されます。任意の広告をタップして選択し、「**適用**」をタップします。



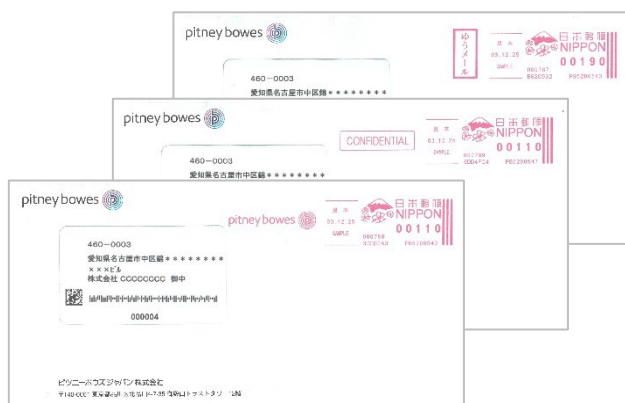
印字の準備

広告入りの印字プレビューが表示されます。部門・種別・計量方法を確定してください。

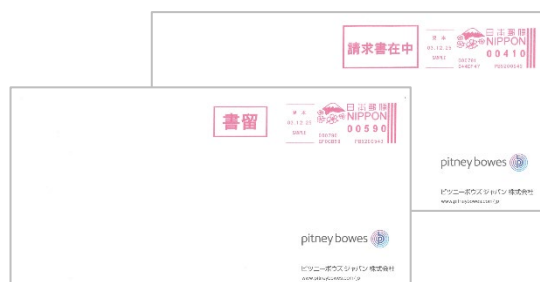
「**印字可能**」と表示されたら、封筒をフィーダーに挿入して印字を行います。



【オリジナル広告例】



【デフォルト広告例】



3. スケールゼロ設定

スケールゼロ設定とは、電子スケールに何も載せていない状態を「0g（ゼロ）」として正しく認識させるための操作です。郵便物の重量を正確に計測するために非常に重要な手順で、計量誤差や料金計算ミスを防ぐ役割があります。

1. 「郵便物の処理」の画面で、「重量表示部」をタップします。



2. 以下のいずれかの画面が表示されます。（直前のスケール使用状況により異なります。）
重量手入力の画面が選択されている場合は、「スケール」をタップして切り替えてください。



3. 「スケールゼロ設定」をタップした後、「適用」をタップすると、郵便物の処理画面に戻ります。



4. 重量表示部の値が 0g になっていることを確認してください。



4. プリンターのメンテナンス

4.1 インク残量について

インクの残量が少なくなると、警告メッセージが表示されます。メッセージに応じて必要な対応を実施してください。

①インクの残りがわずかです。新しいインクカートリッジを取り付けるか、インクをすぐに購入してください。

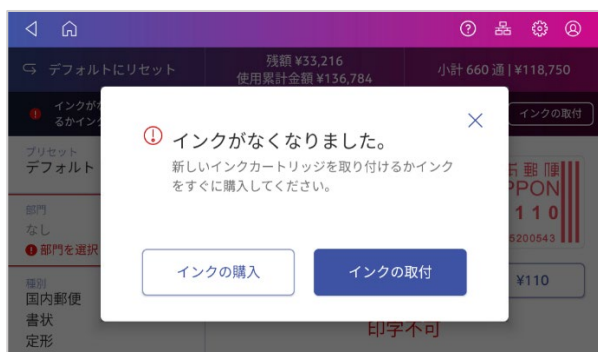
この警告メッセージが出ている間は、印字処理を継続することができます。残りのインクで100通程度（利用状況により異なります）の郵便物の処理が可能です。印字品質を保つために早急にインクカートリッジを交換してください。交換用カートリッジがお手元になれば、至急注文してください。お手元に届くまでに数日かかります。

常に1つ以上の予備のインクカートリッジをお手元においておかれることをお勧めします。



②インクがなくなりました。新しいインクカートリッジを取り付けるか、インクをすぐに購入してください。

この警告が表示された場合、印字処理をすることはできません。すぐにインクカートリッジを交換してください。



4.2 インクカートリッジの交換・取付手順

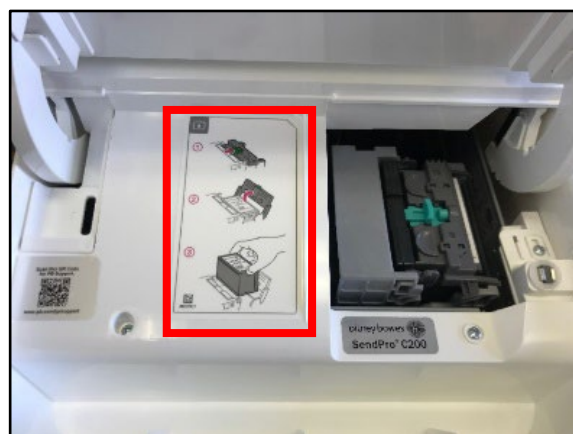
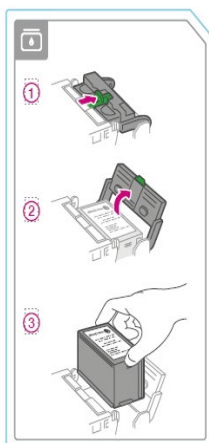
1. 警告メッセージ内の「**インクの取付**」 をタップします。
2. メッセージが表示されていない場合は、ホーム画面右上の「**⚙️アイコン**」をタップし、「**プリンターのメンテナンス**」を選択してから「**インクの取付**」をタップしてください。



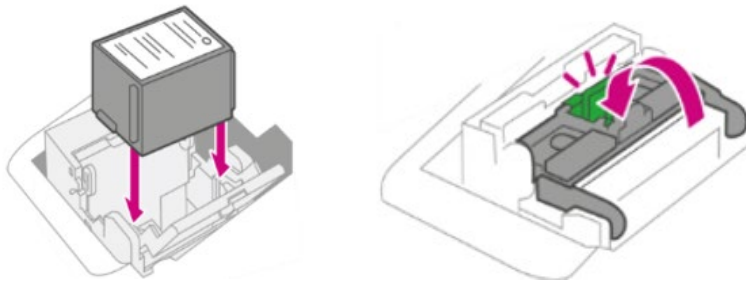
3. 下の画面が表示されたら、イラストの通り前面パネルの右端にあるつまみを持ち上げカバーを開けます。インクカートリッジが自動で取外しの位置まで移動します。



4. TOP カバー内のラベルに記載されている手順でインクカートリッジを取り外します。



5. 新しいインクカートリッジを挿入し、インクカートリッジガードを閉じます。



6. カバーを閉じます。



7. カバーを閉じた後、カートリッジの位置が変わり、約 15 秒後にプリンターのメンテナンス画面が表示されます。「テストパターンの印字」をタップしてください。

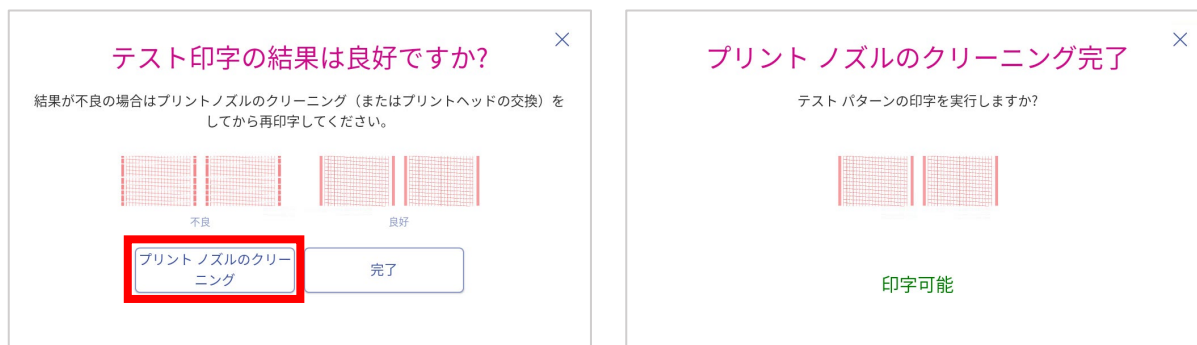


8. 「テストパターンを印字しますか?」と表示されますので、フィーダーに白紙を挿入してテストパターンを印字してください。



9. 印字結果に擦れ等が無い確認します。

印字不良が見られる場合は「**プリントノズルのクリーニング**」をタップします。クリーニング動作完了後、以下の画面が表示されますのでフィーダーに白紙を挿入してテストパターンを印字してください。



10. テストパターン印字後、以下の画面が表示されます。良好であれば、「**完了**」をタップします。



11. プリンターのメンテナンス画面にもどったら「**完了**」をタップします。



4.3 テストパターンの印字

テストパターンの印字を実行することにより、プリントヘッドが正しく動作しているかを確認することができます。

1. ホーム画面右上の「**アイコン**」をタップし、「プリンターのメンテナンス」をタップします。



2. 「**テストパターンの印字**」をタップし、「**印字可能**」と表示されたら、テスト印字用の用紙をフィーダーに挿入して下さい。テストパターンが印字されます。



3. 印字されたテストパターンを確認してください。本体ディスプレイには以下の画面が表示されます。




4. 良好の表示例のようにきれいに印字されていれば「**完了**」をタップします。前の画面に戻りますので、再度「**完了**」をタップして終了します。

印字結果が不良の場合は、「**プリントノズルのクリーニング**」をタップしてください。クリーニング動作終了後、再度テストパターンの印字を行ってください。数回実施しても改善されない場合は、インクカートリッジを交換するか、プリントヘッドのクリーニングもしくは交換を行ってください。

注意：クリーニングを実行する度にインクが消費されますので、頻繁なクリーニングはお控えください。

4.4 プリントノズルのクリーニング

印影がかすれたり、一部が白く抜けたり、正しく印字されない場合は、プリントノズルのクリーニングをお試しください。ホーム画面右上の「 アイコン」をタップします。

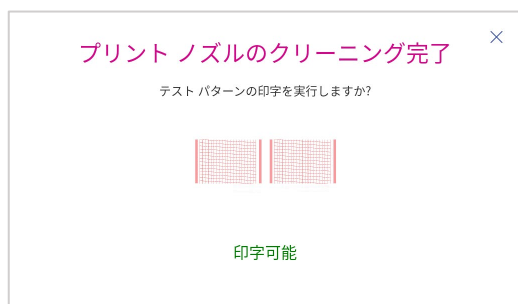
1. 「プリンターのメンテナンス」をタップし、「プリントノズルのクリーニング」をタップします。



2. 「プリントノズルのクリーニング」をタップするとクリーニングを開始します。



3. クリーニングが完了すると以下の画面が表示されますのでフィーダーに白紙を挿入してテストパターンを印字してください。



4. テストパターンの結果が良好であれば、「完了」をタップしてください。前の画面に戻りますので、再度「完了」をタップして終了します。



正常に印刷されない場合、インクカートリッジ交換またはプリントヘッド清掃の必要があります。詳細については、管理者向け簡易ガイドをご参照ください。

5. FAQ & トラブルシューティング

5.1 「書留」オプションサービスを利用する際の注意点

オプションサービスで「書留」または「現金書留」を選択すると、損害要償額の入力画面が表示されます。損害要償額の最低額は 一般書留が10万円、現金書留が1万円 で、上限額は 一般書留が500万円、現金書留が50万円 です。損害要償額は任意の金額を指定でき、指定額に応じて書留料金が変動します。ただし、最低額より低い金額を入力した場合は、最低額として扱われて計算されます。

【損害要償額入力画面】

【損害要償額：1円 書留料金：480円】

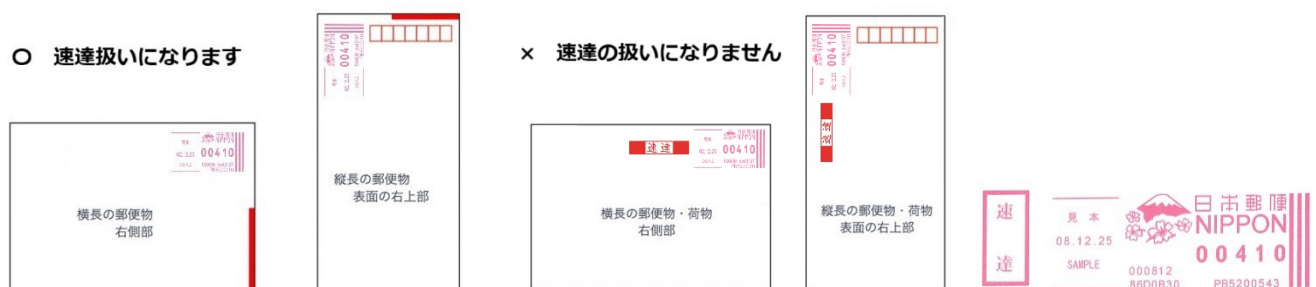
【損害要償額：100,000円 書留料金：480円】

【損害要償額：100,001円 書留料金：503円】

5.2 「速達」オプションサービスを利用する際の注意点

速達のオプションサービスをご利用の郵便物は、縦長の郵便物・ゆうメールの場合は表面右上部に、横長の郵便物・荷物の場合は右側部に、赤い線を表示してください。

※スタンプ印やカスタム広告で作成した速達印だけでは、正しく速達扱いとされない場合がございますので、ご注意ください。



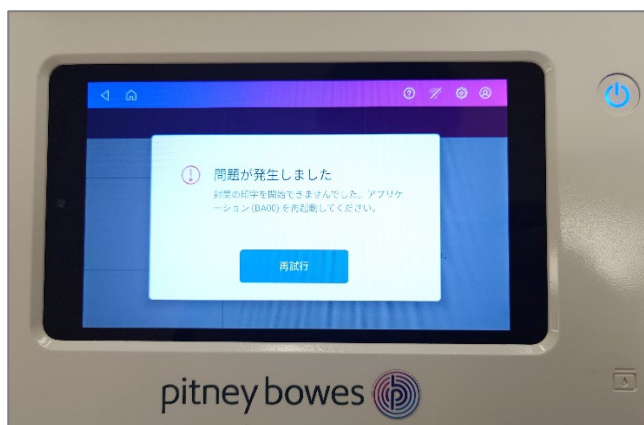
5.3 スケールに何も載せていないのに 1g と表示される

工場出荷時のデフォルト設定ではスケールに何も載せていない状態でも1gと表示する設定としております。これは使用頻度の高い、国内定形郵便・最小重量での処理を容易に行えるようにするためです。スケールに郵便物を載せた際には0gを基準に算出された数値が表示されます。



5.4 問題が発生しました BA00 エラーが表示される

機器の電源投入後に郵便処理画面で BA00 エラーが表示される場合、原因として最も多いのは、電源投入時に電源ボタンを長押ししてしまい、機器がサービスモードで起動している場合です。



【サービスモード判別方法】 電源ボタンの点灯状態をご確認ください。
電源ボタンが「青点滅」している場合、サービスモードで起動しています。

【対応方法】 以下の手順で再度起動してください。

1. 電源コードをコンセントから抜きます。
2. 電源がオフになってから1分間待ちます。
3. 電源コードを再度コンセントに差し込みます。
4. 電源ボタンを押してすぐ離し、電源をオンにします。

5.5 厚い封筒を印字する場合

直接印字可能な厚みは9.5mmまでです。これを超える厚みのある郵便物については、専用の四角いラベルに印字し、郵便物に貼り付けてください。



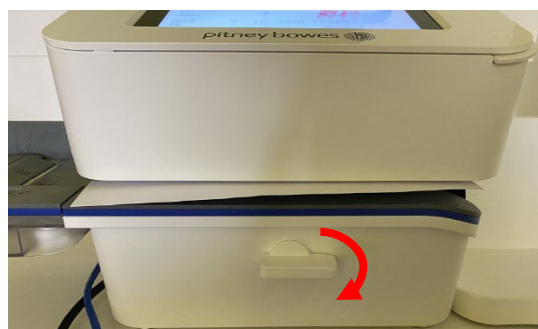
5.6 封筒が斜めに搬送された場合

封筒が斜めに搬送されると印字されないまま排出され、画面にエラーメッセージが表示されます。「OK」をタッチして、再度処理を行ってください。



5.7 封筒が詰まった場合

搬送時に紙詰まりが発生した場合は画面表示に従いリリースレバー（下図赤丸部）を時計方向に回し、ロックを解除してから用紙を取り除いてください。詰まった封筒やラベルを無理に引っ張ったりしないでください。



用紙を取り除いたらレバーを反時計回りにもとの位置に戻してください。郵便処理画面に戻ります。

ピツニーボウズジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 12 階

SendProC220_320_オペレーター向け 簡易ガイド Rev. A